

### 新所長着任



四国山地砂防事務所長

ほしの ひさし  
星野 久史

4月より、前任の伊藤所長に代わり事務所長となりました星野です。どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震があったこともあり、昨年は全国的に見ても土砂災害の多い年でありました。平成30年に発生した土砂災害は3,459件と、昭和57年の集計開始以降過去最多となりました。

四国山地砂防事務所の管内も例外ではなく、吉野川水系の立川川・行川・栗ノ木川で発生した土石流と、同じく吉野川水系の境川流域で発生した有瀬地区の地すべりに対応して、

災害関連緊急事業を実施中です。このような状況を踏まえ、今年度の当事務所の事業費は昨年度の約44億円から大幅に増額となり、約54億円となっております。引き続き地域の安全と安心のために砂防事業を推進してまいります。

また、新所長として、「砂防事業を通じていかに地域に貢献できるか」についても考えてまいりたいと思います。砂防事業の現場である中山間地域は、国土保全上重要であるにもかかわらず少子高齢化・人口流出により、存続の危機に直面しているところが多くあります。一方で、当事務所の管内であれば祖谷の里のように、歴史・文化・景観・食べもの等、その地域ならではの魅力を持っています。地元の地方公共団体や設計・工事の受注企業の皆様等ともよく連携して、砂防事業を通じた地域の活性化にも貢献し、地域に密着した砂防事務所として、地域の信頼を得ながら、砂防事業を進めてまいります。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 平成30年度 朝谷堰堤改良工事

#### 【工事概要】

当現場は土佐郡大川村朝谷地先に位置する白滝の里と呼ばれる地区にあります。平成2年に完成したコンクリート堰堤を、土砂・流木捕捉効果が高い透過型砂防堰堤に改良するため、水通し部分を取壊す工事を行いました。



朝谷砂防堰堤



完成後のイメージ

#### 【現場技術者の声】

当現場は毎年秋に恒例の「謝肉祭」が行われる場所近くの村道朝谷線沿いにあります。渓流地ですので、まず水を迂回させる排水管で仮水路を設置し工事用道路を施工しました。完成して30年近く経つコンクリート堰堤を一部取壊すまでが今回の工事です。当初は1台の重機で取壊す予定でしたが、コンクリートが想像以上に固く急遽3台の重機を搬入して工期内に完了することができました。又、工事関係者、地元関係者の皆様の協力もありトラブル等も無かった事も報告させていただきます。



(現場代理人：濱田重雄)

(平成30年度 朝谷堰堤改良工事：南国建興株式会社)